

令和6年度広島市献血推進協議会 会議要旨

1 開催日時

令和7年2月12日（水）14時00分から15時00分まで

2 開催場所

オンライン及び広島市役所本庁舎14階第7会議室

3 出席者等（委員23名中14名出席）

・委員（14名）

松井会長、鉄村副会長、坂井委員、麻奥委員、西山委員、三浦委員、砂原委員、佐々木委員、森島委員、辻委員、久保委員、石橋委員、大岡委員、山根委員

・委員代理（1名）

広島県薬務課 源内参事

・幹事（4名）

岩崎保健医療局長、上田保健部長、加賀谷保健部次長（兼）市立病院担当部長、小磯医療政策課長

・オブザーバー（6名）

広島県薬務課田中主査、渥美技師

広島県赤十字血液センター事業推進部川口部長

広島県赤十字血液センター献血推進課宇佐川課長、徳永係長、川岡係長

・事務局職員（2名）

・傍聴者（0名）

計 27 名

4 会議要旨

(1) 議事1 令和6年度 献血推進事業の実施状況について（報告）

説明者：小磯医療政策課長

(2) 議事2 令和7年度 献血推進事業計画（案）について

説明者：小磯医療政策課長

(3) 議事3 その他

①「広島県の献血状況」②「令和6年度広島県献血推進計画に対する実施状況」

説明者：源内参事（広島県健康福祉局薬務課）

③ 献血事業の現状と課題

説明者：広島県赤十字血液センター麻奥所長、徳永係長

【質疑応答等】

（麻奥委員）

皆様には、日頃から献血推進に御尽力いただきまして、誠にありがとうございます。おかげ様で、今年度も今のところ、献血必要量を確保することができています。

しかし、現状を申しますと、少子高齢化の加速によって献血基盤の脆弱化が進んでいることも事実です。

すでに県単位での血液の需給調整は難しい状況になりましたので、12年前から全国をプロ

ック化し、中四国ブロックとして、供給体制を構築しております。中四国ブロックとしては、中四国全体の需給調整を行っています。現在では、献血された血液をその日の内に、広島に集め、製品化した上で、それぞれの県に必要な量を再配分しています。

そのような中で、広島市は中四国の中で最大の都市で、中四国地方の5つの県それぞれよりも人口が多い状況です。そのため、広島市の献血推進のありようは中四国のシンボリック要素になっています。その点につきましても皆様に御理解いただけますと幸いです。今後ともどうかよろしくお願いします。

(辻委員)

女性の50kgという体重制限については、今後見直しの予定はありますか。

(宇佐川課長)

400mL 献血を協力いただく際に、体重から血液の量が決まります。安全を重視した上で、国が基準を決めていますので、現状では、50kg以上の方に協力していただいています。

(鉄村会長)

献血の年齢制限については、今後見直しの予定はありますか。

(宇佐川課長)

年齢制限については、現段階では変更の予定はありません。